

万斛庄屋公園だより

(第41号)

令和7年12月13日 発行

編集発行

旧鈴木家屋敷跡地活用協議会（会長：岩井正次）
（浜松市積志協働センター 積志地区自治会連合会 内）

事務局

NPO 法人旧鈴木家跡地活用保存会（理事長：村木正彌）
（連絡先 村木正彌 053-434-1877）

前40号から6ヶ月を経た久しぶりの広報です。

●序にかえて…万斛庄屋公園を、保養・散策・娯楽のために使い倒して家康公に報告したい

いささか威勢のよい文言かも知れませんが、万斛庄屋公園を心より愛する1人として、ある日公園を散策していて思ったことです。この公園は、家康公にゆかりのある「旧鈴木家屋敷跡地」にあります。彼の時代に公園ってあったのだろうか？と思って調べてみました。すると、公園とは明治政府が“人々の保養・散策・娯楽のための公共空間”として整備したのが始まりと分かりました。残念ながら家康公の時代には公共の公園はなかったようです。この公園を更に良くして家康公に報告してやりたい。そんな思いです。（NPO 専務理事）

報告待っ
とるぞよ

●大ケヤキを伐採しました（8月20日）……浜松市公園課

万斛の一画にあった大ケヤキ、高さ26m樹齢180年という園内随一の巨木です。しかし長年にわたって幹内の腐食が進み、対策を重ねて来ましたが、これ以上安全は保てないという判断から伐採のやむなきに至りました。この木は地域の人々に「御神木」として愛されて来た経緯もあり残念な思いもあります。今後は残された「根っこ」部分が、新たな象徴として次の歴史を創って行ってくれることを願っています。



●幼稚園児童の活動…万斛応援隊お手伝い

幼稚園の子どもたちが遊びに来ました（11月10日）

万斛幼稚園（30名）橋爪幼稚園（14名）の園児が、“園外に出かけて季節の変化を感じる”“違う園の友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ”ことを目的に公園の広場で遊戯やゲームをし、お弁当を食べて交流しました。場内を案内した万斛応援隊はお弁当なし。邪魔をしないよう屋前に退散です。



●中郡小学生の活動3題…万斛応援隊お手伝い

その1…1年生のイモ掘り（10月20日）

この5月、彼ら自身が植えた芋ツルが大きく育ち、この日総勢118名がイモ掘りにやってきました。イモを洗う賑やかさ（まだ洗っていませんが）のいっときが過ぎ、掘ったおイモを誇らしげに抱えて学校へ凱旋しました。

その2…3年生の歴史探索（10月2日）

中郡小3年生の一部（35名）が「地域の歴史の探索」と称して公園にやって来ました。屋敷を見学しながら“徳川家康が時々訪れたこと”“庄屋として地域の人から「大西さん」と呼ばれて敬愛されていたこと”などを学びました。地域の宝であり財産である子どもたちが歴史を通じ成長して行くことは楽しみなものです。



その3…PTA主催で、小学生とその親たちで稲刈り(9月27日)

お米の一生は、種まき/耕運/代掻き/田植え/水管理/除草/稲刈り/脱穀/精米等たくさんの作業があり、その多くは万斛応援隊でフォローしています。その中で、この5月小学生自身が植えた「中郡米」(銘柄:にこまる)が黄金色に成長し、親子共々80名が稲刈りをしました。



●松川電気主催の2題

その1…「月見の宴」コンサート(10月4日)

奥三河・東栄町より和太鼓プロ集団「志多ら」を招いての演奏会が帰一庵で開催され、笛と太鼓の音が響き渡る幻想的なタベとなりました。終演後には、鈴松庵の庭で篠笛の演奏が行われ、静かな秋の夜に優しい音色が溶け込んで行きました。



その2…「盲導犬セミナー」と「紙芝居」と「焼きイモ」と…(11月22日)

眼の不自由な人を安全に導く盲導犬の働きを「富士ハーネス」が解説し実演して見せてくれました。その後感動の醒めやらぬまま、流通元町図書館による紙芝居やゲームを楽しみました。そして最後に、万斛応援隊が準備した焼きイモをもらってホッカホカの気分で会場を後にしました。



●その他のイベント各種

その1…静岡銀行による「小さな親切運動」(11月1日)

静岡銀行が地域社会への感謝の気持ちを込めて清掃や美化運動を行う取り組みです。当日は爽やかな秋空のもと、総勢26名が公園内のゴミ拾いや草刈り、落葉などの清掃を行いました。作業の合間には、地域の人々との交流もあり、公園や地域への想いを共有する暖かい時間となりました。



その2…庄屋の四季・その他による「庄屋の四季イベント」(11月16日)

庄屋の楽市、クリーン大作戦、子供たちの遊び場「あそばんび」、遠州大念仏、出張図書館、ミニ科学の祭典、などなど10数カ所のブースが設けられ、多くの親子連れが訪れました。天候にも恵まれ、落葉の舞う公園で素敵な時間を過ごすことができたと思います。



その3…浜松医大学生による健康講座(11月11日)

浜松医大の学生が緑豊かな万斛広場へ来場、居合わせたグラウンドゴルフを楽しむ人を対象に恒例の健康講座を行いました。学生が健康について質問する→答える→必要に応じてアドバイスする……笑い声も混じっての講座です。歩く・食べる・喋る…これぞ健康のもとであることを学びました。



その4…万斛応援隊による広場整備

万斛応援隊(NPO・帰一会・有志)による広場整備、そして大勢の人がグラウンドゴルフを楽しむ……というパターンは変わりなく続いています。



以上は、万斛庄屋公園に関わる方々から文案をいただいてまとめました。

なお、それぞれの詳細は公園内の掲示板やフェイスブックでご覧いただけます。(編集子)